

研 修 レ ポ ー ト

議会運営委員会 視察研修

1月25日・26日・27日

研修先
奈良県田原本町



▲唐古・鍵考古学ミュージアムで説明を受ける委員

田原本町は、奈良県の北西部に位置し、町域は奈良盆地の中央部を占めています。人口は、3万2,823人（平成22年4月1日現在）、平成22年度全会計の当初予算の総額は、186億5,235万4千円です。町はその名の通り大和の穀倉地帯の中心地で稲作が盛

んでしたが、今日では地理的条件を生かした都市近郊農業へと変貌しつつあります。また、歴史の国「大和」の中でも最も早くから開けたところであり、特に弥生時代を代表する国史跡の唐子・鍵が所在しています。

議員定数は16人、

総務文教常任委員会、厚生環境常任委員会、建設常任委員会、議会運営委員会のほか、5つの特別委員会が設置されています。当議会との主な相違点は①議案は全て※委員会に付託している。②一般質問

通告者は執行に

対し、事前に質問内容をまとめた関係資料（口述書など）を提出すること。③執行は議案上程前に、正副議長に対して内容説明と行うこと。④「議会だより」は作成せず、町広報紙に議会情報を掲載してい



▲研修の様子

る。⑤会議録の配付は、CDRで行っている。⑥政務調査費（年間2万4千円）が認められている。町長の冒頭の挨拶で「町民がふるさとのことを理解していない」と述べられたことが印象的でした。

当議会も今回の研修を機に議会活性化に向けて取り組む所存です。歴史の郷「奈良県田原本町」での大変有意義な研修でした。

用語解説

委員会付託：議会の議決の対象となる事件について、議会の議決に先立って詳しく検討を加えるために、それぞれ担当の委員会に審議や調査を委託すること。

議員全体研修

2月3日

演題 町村を取りまく状況について
講師 全国町村議会議長会
事務総長
高田 恒 氏

町村を取りまく状況について講演があり、次の3点について講義を受けました。

①地域主権改革の動向・戦略大綱。関連法案。地方自治法の抜本改正。

②平成23年度の町村財政。財政対策、子ども手当、一括交付金（地域自主戦略交付金）

③地方議会議員年金の廃止案。これまでの経緯、廃止案の概要。今後のあり方。議員年金について総務省の方針は、平成23年6月1日で廃止。廃止後の給付については、在職12年以上の場合掛金・特別掛金総額の80%の一時金の給付を受けるか、年金の給付を受けるか選択できる。在職12年未満の場合は、掛金・特別掛金総額の80%



▲研修の様子

の一時金の給付を受ける。現在、日本情勢、県の環境、地方町村の停滞、国債で賄うことには限度がある。今後の飛躍は、地方の力が大きく動き出す時期ではないかと思う。そのためには、国においては地方自治法の改正が求められる。地方財政の健全化は地方独自の発想の転換を図り事業計画を立て自主財源の確保に努めなければならない。